



2019年9月

第291号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 並木 信一
 副会長 花輪 宗命・久保田貞視
 書記 多河敏子・長谷川あや子
 会計 小口 多津子
 直前会長 久保田貞視
 担当主事 中里 敦
 プリテン 山本 英次・茂木 稔
 大久保 重子・多河 敏子

国際会長 Jennifer Jones (オーストラリア) 主題 Building today for a better tomorrow スローガン On the MOVE!! 「さあ動こう!!」
 アジア太平洋地域会長 田中博之(東京多摩みなみ) 主題 Action 「アクション」
 スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」
 東日本区理事 山田敏明(十勝) 主題: 勇気ある変革、愛ある行動!
 副題: みんなで力を合わせて、1・2・3
 あずさ部部長 赤羽美栄子(松本) 主題: あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために!
 クラブ会長 並木信一 主題: 誰かに、何かに、必要とされたい!

9月例会プログラム

(担当: A班・小口・中里・並木真・古市・眞野・長谷川)

日時: 2019年9月14日(土) 18:00~20:00

会場: 北野事務所大会議室

受付: 中里・並木真

司会: 長谷川

開会点鐘	並木会長
ワイズソング	一同
ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジターの紹介	並木会長
聖句・食前の感謝	小口
会食	

卓話「YMCAの災害被災者支援活動—その視点と方法」

卓話者 東京YMCA 副総主事 星野太郎氏

東京YMCA報告 担当主事 中里

報告・連絡事項 並木会長 他

A Happy Birthday 並木会長

閉会点鐘 並木会長

巻頭言

クラブ設立25周年を迎えて

実行委員長 久保田貞視

当クラブは1994年10月30日のチャーターナイトで正式に設立して以来25年になります。通常、10年毎の節目で設立30周年を開催すべきですが、会員の加齢は如何ともしがたく、取り合えず、25周年を拡大例会ということで実施することにいたしました。したがってホテル等で大げさにせず、東京YMCA が関係しており、館長がクラブのメンバーである高尾の森わくわくビレッジで10月12日(土)午後1時半から記念例会と祝会(懇親会)を開催します。

しかし、記念例会ですのであずさ部をはじめ他部の各クラブには出来るだけ出席していただき、祝っていただきたいと思います。

先月の例会ポイント (8月)

		BF ポイント	
在籍	16名	切手(国内・海外)	450g
メン	11名	累計	450g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	68.8%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	0円
ゲスト	0名	累計	11,630円
ビジター	1名	オークション	0円
ひつじぐも	0名	累計	0円

今月の聖句 (2019年9月)

私は羊のために命を捨てる。私には、この囲いに入っていないほかの羊がいる。その羊をも導かなければならない。その羊も私の声を聞き分ける。こうして、一つの群れ、一人の羊飼となる。私は命を再び受けるために、捨てる。それゆえ、父は私を愛して下さる。誰も私から命を取り去ることはできない。私は自分でそれを捨てる。私は命を捨てることもでき、それを再び受けることもできる。これは、私が父から受けた戒めである。
 (新約聖書・ヨハネによる福音 10:15~18)

クラブ活動は毎月の例会は充実したものとするよう心がけており、地雷廃絶・東日本大震災被災者支援チャリティコンサートは、今度、第22回になりますが、その1年前に、地域の市民の方に、無料で開催したので、実際には23回目となります。チケットの販売にも苦勞しています。

今でも JCBL と東日本大震災被災者支援に毎回、それぞれ10万円以上寄付しており、寄付金の累計は数百万円に上っています。

養護老人ホーム「絹の道」のデイケアの方へのメネットを主としたボランティア支援は24年になり、今は主として近隣の女性の方に応援していただいています。街頭募金はかつては国内外の地震・津波・台風被害者の募金をいち早く実施していましたが、今は、チャリティコンサート前の街頭募金で、あとは東京YMCA西東京センターの街頭募金への協力となっています。

特筆すべきは中央大学 YMCA ひつじぐもが20年前に復活し、その時から、毎月の例会にはひつじぐもの学生が数人出席し、チャリティコンサート・街頭募金等の行事には必ず約10名は応援に駆け付けてくれています。毎年、10月には中大ナイトとしてひつじぐもの学生が例会の運営、卓話（主として IYC/AYC 報告、その他海外ボランティア活動の報告）担ってくれています。AYC/IYC にはひつじぐもの学生を毎年のように派遣しています。クラブとしては毎年5月に、ひつじぐもの新人歓迎会を高尾の森わくわくビレッジでの草刈とBBQで共に汗を流し、一緒に懇親を深めています。また、毎年、中央大学の白門祭には会員が伺っています。

この25年間で行事はそれなりにこなしてきましたが、設立20周年事業の一つとしてIBCの高雄ポートクラブと協働で、高雄市青少年オーケストラを誘致し、地元八王子の5中学校のブラスバンドと共演できたのは貴重な思い出です。その節、八王子・台湾友好交流協会理事長の黒須隆一氏(元八王子市長)の支援があり実現できたので、感謝しています。

また、今回の設立25周年記念例会にひつじぐものOBが数名出席される予定で、今後とも彼らとのパイプを太くして将来は会員増強に繋がればと願っています。この設立25周年記念例会を機に、会員が新たな気持ちで活動を継続したく、ご出席者の方々よりもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

尚、当クラブの活動報告は記念誌編集委員長の茂木ワイズが作成している25年の活動報告を出席者に配布しますのでご覧下さい。

西東京センターの焼きとうもろこし

長谷川あや子

今から10年くらい前でしょうか、東京多摩みなみクラブの田中博之さんから、東京YMCA夏まつりに西東京センターとして何か出店しませんかという発案がありました。話し合った結果、「焼きとうもろこしを売ろう！西東京センターに通っている“すみれ”の生徒さんも何かお手伝いしてくれるといいね」と話がまとまり、とうもろこしの手配は田中さんをお願いしました。それが今も続いている十勝のとうもろこしです。私自身は2011年の夏まつりからはほぼ毎年参加、焼きとうもろこしに携わっています。

夏まつり前日はYMCAのスタッフを中心に実行委員、出店するクラブのメンバー有志が集まり、会場の設営、必要物品の配布と受け取り確認を行います。とうもろこしを茹でる寸胴や大ザルなど東京ひがしクラブの物品を毎年有難くお借りしています。当日は9時までに東陽町センターに行き、11:30のオープニングセレモニー開始に合わせてとうもろこしの皮むき、湯沸かし、火おこしの準備を始めます。各ブースでは餃子/焼きとり/焼きそば/生ビール・飲み物などの準備が始まり会場は一気に活気づきます。茹で上がったとうもろこしは今年も武蔵野多摩クラブの渡辺さんを中心に西東京センタースタッフの池端さん、中大ひつじぐもの須郷さん、川村さん、堂本さんが暑い日差しの中、頑張って焼いて下さいました。昨年、一昨年は午後2時には150本のとうもろこしを完売したのですが、今年は苦戦しました。午後2時50分頃ようやく完売。でも池端さん、東京西クラブ会長の篠原さん、日本語学校のミャンマーからの生徒さん、中大ひつじぐもの3人が協力して下さい有り難いことでした。特にひつじぐもの皆さんは抽選会のお手伝いまで駆け出され、長い一日お付き合い下さいました。武蔵野多摩から小林さん、野尻さん、渡辺さん、八王子から並木さん、久保田さん、小口さん、長谷川が参加いたしました。協力の楽しさを味わうことの出来た一日でした。みなさま、ありがとうございました。



西東京センター便り

YMCA 西東京センター 館長 中里 敦

夏のシーズンも終わってみればあっという間に感じますが、7月の中旬から8月の終わりまで、宿泊キャンプ、学童、PTT 国立といくつもの夏のプログラムが続いていました。参加者も小学生から大人までと様々でしたが、子どもたちにとって、よき夏の思い出作りと一人ひとりの成長の場になったことと思います。また、大人は障がいのある方々ですが、日頃は施設に入居していたり、仕事以外の外出が少なかったり、宿泊で出かけるのが難しい人もいる中で、日常とは違った楽しみがあって、リフレッシュの時間になればと思ってキャンプをしています。そして、キャンオプ後の日常の仕事や生活がよいものになればと願っています。同時に保護者の方にとっても、自分の時間や他の家族との時間を楽しんでもらえたらと思っています。以前、保護者の方と話す機会があった時にこんな話を伺いました。「子どもを預けて自分たちが楽しむのはうしろめたいと感じる時がありますが、YMCAに預けるのは別なんです。YMCA では子どもが楽しい時間を過ごしているので、私たちが安心して楽しもうという気持ちになるんです。」この話を聞いた時に YMCA の活動は、本人だけでなく周りの家族にとっても必要なものと力づけられました。私たちは、家族で過ごさなければいけない僅かな時間だけ預かるだけですが、その僅かな時間だけでも役に立っていることが分かり、続けることの意義を感じることができました。キャンプを実施するには、特に障がい者のキャンプはリーダーの募集に苦労したり、大変なことも多くありますが、この夏もキャンプを実施できたことをよかったと感じています。全てのプログラムが大きな事故などなく終わられたことに一安心しながら、長いシーズンを守ってくれたスタッフに感謝したいと思います。

中大ひつじぐも便り

中大ひつじぐも 2年 水野里美

8月25日～29日の間タイのスタディーツアーに行きました。前後の1日は移動だったので活動日は実質3日間でした。主な活動としては、人身売買および子供の商業的性的搾取(CSEC)についての勉強会を行ったり、YMCA パヤオセンターの子どもたちと遊んだりしました。

勉強会はセンターの子どもたちが置かれている状況とタイで今起きている問題について学びました。タイスタに初めて参加する人には衝撃の内容だったのではないのでしょうか。実際にそういった問題と向き合っている方からこうしたお話を聞けるのはとても貴重な経験だったと思います。

子どもたちとはバレーボールなどの球技をしたり、私たちや子どもたちが考えたゲームをして遊びました。お互いの言葉が通じなくとも言葉の壁を超えて楽しい時間を過ごすことが出来ました。

初日の歓迎会ではタイでお祝い事があるときに食べる料理を食べ、タイの曲に合わせて子どもたちダンスを踊りました。そのほかにもMDTの方のお話を聞いたり、地元の学校に行き中学生と交流したりしました。

タイでの1つ1つの活動どれもが、私たち参加者にとってかけがえのない時間となりました。

パヤオセンターには現在33人の子どもたちが暮らしていて、ほとんどの子は人身売買やCSECの被害にあうリスクが高いために、自分が住んでいた家を離れて生活しています。

そんな事情を抱えながらもパヤオセンターで暮らす子どもたちは、明るく良い子たちばかりで私たちのほうがたくさん元気もらいました。今回のスタディーツアーでの経験を今後に生かしていけたらなと思います。

今月の聖句によせて(2019年9月)

以前にもプリテンで紹介したことがあり、多くのYMCA関係者にとって記憶に残り、私自身についても、9月となれば必ず脳裏にのみがえるのが青函連絡船「洞爺丸」の遭難事故です。私はこの時小学校6年生で、事故を報ずるラジオのニュースを今でも鮮明に覚えているからです。

1954年9月26日、台風15号は北海道を襲いました。港に停泊していた「洞爺丸」は、岸壁に衝突する危険を避け港外に避難しましたが、高波により沈没の危機が訪れました。船内アナウンスにより船客には救命胴衣を装着するよう促されました。船客の中に、日本YMCA 同盟の協力主事として働くディーン・リーパーさんがいました。手品が上手で陽気なリーパーさんは恐怖に震える船客に冗談を言って励ましながら、救命胴衣の装着を手伝っていましたが、船客の中の一人の少女の救命胴衣のヒモが切れて装着できなくなりました。これを見たリーパーさんは自分の救命胴衣を外して少女に与え、励ましの言葉をかけました。「私は泳げるし、貴女の方が私よりも若い・・・」。直後、船は転覆しました。リーパーさんは帰らぬ人となり、助かった少女の証言によって、この事実が知られるところとなりました。この事故による死者・行方不明者は1,100人を上回り、タイタニック号の遭難事故に次ぐ海難事故になりました。リーパーさん、この時、33歳。3男1女の父親でした。

後に、長男のステイブン・リーパーさんは広島平和文化センターの理事長となり、核兵器廃絶のために奔走し、現在は、広島県三次にあるNPO法人「平和文化村」をつくり、この代表理事を務めています。

並木 信一

高尾山健康登山150回達成

久保田貞視

八王子には高尾山がある。ワイズメンズクラブの活動に、高尾山登山を取り入れて自然に親しみ、健康で前向きに活動できる体力・気力を作ろうと今は亡き橋本秀昌ワイズと高尾山健康登山を始めたのが2007年1月29日でした。その日の登山者は、有海さん、多河さん、長谷川さん、橋本さんと久保田の5人でした。

その後2年経ち、高尾山はミッシュランの天然資源に恵まれた自然・山の部で三ツ星になり、登山客は急増し、外国人登山客も増加した。今年年間、3百万人が登っている。高尾山は都心から近距離にあるだけでなく、真言宗智山派の本山である薬王院有喜寺を母体に野草・草花・野鳥、昆虫類など多くの種類が混在しており、1号路の尾根の左右は南北で植樹体系が違い、四季の変化に富んでいることと種々の登山路があり楽しめることが登山客を引き付けている。

登山日を毎月、第2月曜日と決めて、雪の日も雨の日も必ず登ることにして100回目の2015年3月9日にはワイズは長谷川さん、多河さん、大久保重子さん、東京西クラブの本川さんに久保田の5名。他に、友人の金内さん、石川さん、岡垣さん、長南さん、舟山さん、鶴賀さんの6名に100回記念祝賀会には山本さんと友人の木村さん、中村さんが加わり、14名が出席して盛大に開催した。

これまで150回の12年半の間に、ワイズの吉原ワイズ、橋本ワイズ、大久保ワイズと友人の大塚君が逝去、ワイズに入った田中さん始め数人が病気で不参加になり、また、ワイズのメンバーも高齢化が進み、高尾山登山を敬遠する人も出てきた。6月10日の150回記念登山には豪雨の中7名が登山に参加した。7月1日の御岳山の山香荘での祝賀会には14人出席した。この山荘は小説家浅田次郎の母親の実家であり、彼が書いた「神坐す山のものがたり」の題材となったところである。

7月8日には151回目の登山をした。この高尾山登山は出来るだけ長く継続したく、現在の仲間は200回までは続けようと意気込んでいる。

高尾山登山と共に、番外として、富士山、大菩薩、富士山五合目佐藤小屋までの吉田口旧道の登山、高水三山、甲州高尾山、石老山などにも登っている。

登山は体力勝負ではあるが、加齢とともに無理せず、ゆっくりと低山に登り、自然に親しんで余暇を楽しむのも人生に変化を付ける。まだ継続しますので、多くの方の参加を切望している。

焼きとうもろこし 300円!

中大ひつじぐも 川村 拓

8月24日に東京YMCA 東陽町センターで開催された東京YMCA 夏祭りでお手伝いをしました。ひつじぐもから3名が参加しました。

ワイズメンズクラブの方々と一緒に売り物の焼きトウモロコシの調理と販売を行いました。当日は天候に恵まれ多くの方がいらっしやってくださりよかったです。トウモロコシをゆでて焼く作業は暑くてなかなか大変でした。販売では焼けたトウモロコシをもって会場内を回って売り歩きました。自分が調理して販売したものを来てくださった方々が食べてくれると達成感がありました。自分でも焼きトウモロコシを食べましたが、やはり自分で作ったものはおいしく感じました。

休憩時間には、ほかの出店で買い物をしたりバンドの音楽を聴いたりしてお祭りを満喫することもできました。また、ほかのワイズメンズクラブの方やYMCAの方とお話しすることができ、ほかの方たちの活動について知ることができたのでとても勉強になりました。これからもこうしたイベントに参加していくことで新しいつながりや活動につなげていければよいと思いました。

お祭りには家族連れの方が多くいらっしやっていて、子供向けのくじ引きが大盛況でした。このくじ引きでは運営のお手伝いをしました。元気いっぱいの子どもたちに圧倒されてしまい誘導するのがうまくいかないことがあったので、児童館でのボランティアなどを通じて子どもたちとさらにうまく接することができるようにしたいと思いました。くじ引きでは子どもたちがとても楽しそうにしていたので見ているこちらも楽しい気分になりました。

今回のお祭りでの経験を大学の文化祭での出店の運営や活動先でのイベントの運営に生かしていきたいと思います。お手伝いだけでなくお祭りを満喫できてとても楽しい時間を過ごすことができました。来年も参加させていただきたいと思いました。



切手: 国内 350g
海外 0g 累計 350g
プルタブ 0g

2019年8月第二例会報告

日時: 2019年8月24日(土) 18:00~19:15

会場: 北野事務所小会議室(担当 C班)

出席: 小口・長谷川・久保田・並木・福田・茂木・山本 (7名)

A 報告

1. 8月第一例会(直前会長・メネット会長感謝会)

日時: 8月10日(土) 17:30~20:00 会場: ファイン

出席: 小口・長谷川・久保田・久保田メネ・花輪・望月・福田・並木・並木メネ・大久保・多河・辻メネ・茂木・山本 ビジター 太田勝人(町田スマイリング)

2. 東京YMCA 夏まつり

日時: 8月24日(土) 11:30~15:30

会場: 東京YMCA 東陽町センター

西東京センター出店(焼きとうもろこし)販売協力・・・並木・久保田・小口・長谷川 中大ひつじぐもから須郷利貴さん、川村拓さん、堂本好実さんが参加

収益 17,810 円を東京YMCA に寄付

ラッフル券の購入に協力 一枚 250 円×40 枚

B 予定

1. 9月第一例会

日時: 9月14日(土) 18:00~20:00 (担当 A班)

卓話者: 東京YMCA 副総主事 星野太郎氏 「YMCAの災害被災者支援活動—その視点と方法」

2. 9月第二例会

日時: 9月26日(木) 18:00~20:00(定例日程を変更) 会場: 北野事務所小会議室

3. クラブ設立25周年記念例会(10月第一例会)

日時: 10月12日(土) 13:30~17:00 受付 13:00~

会場: 高尾わくわくビレッジ研修室2 会費: 3,000 円

4. 11月第一例会

日時: 11月9日(土) 18:00~20:00

会場: 北野事務所大会議室(担当 C班)

内容: 中大ナイト(中大ひつじぐもがプログラムを担当)

C その他

1. 第31回YVLF 9月6日~8日 山中湖センター

2. 東京YMCAチャリティラン 9月23日(月・祝日)

3. 富士山例会 9月28日~29日

4. アジア太平洋YMCA大会 9月2~6日 東山荘

5. あずさ部部大会 10月19日(土) 於 松本

6. 高雄港クラブ創立20周年慶祝大会

2020年3月7日(土)

絹の道デイサービスセンター ボランティア活動

【報告】9月4日(水) 14:00~15:00 手工芸

参加者: 赤羽、石井、色川、久保田、下重、山口、山中、茂木

【予定】10月9日(水) 14:00~15:00 手工芸

*BF2019年8月報告 プルタブ報告

わくわくビレッジ便り 8月号

館長 古市 健

日中は残暑の厳しさを感じる日がまだまだ多いものの、朝晩は涼しい風が吹き、進みゆく季節を感じる頃となってまいりました。今年の厳しい暑さの長い夏と比較をすれば、今年は穏やかで短い夏となったように感じています。それでも当館のお客様の中には、熱中症のような症状が出た方も数人いらっしゃいました。フロントにお声がけいただいた際には、涼しい場所をご案内し横になっていただき、氷嚢をお貸出して体を冷やして休んでいただきました。回復なさってまた活動に戻って行くお客様を見ながら、今後もこうして厳しい夏のさなかにも体育館などで活動するお客様をしっかりサポートしていくことをスタッフと再確認いたしました。

8月は当館の最繁忙期であり、今年も4,000名程度の多くのお客様にご宿泊いただくことができました。また、東京都教育委員会と共催で行なう社会教育事業のキャンプも3つ実施し、そのいずれも定員を上回る数の子供たちに応募いただき、また大きなケガをすることもなく無事に全日程を消化してご自宅へ帰っていただくことができました。1つのキャンプを率いた担当スタッフと話しましたが、今年は気候も比較的穏やかで、優秀なボランティアリーダーにも支えられ、今まで自分が率いたキャンプの中で最も充実したキャンプができたように思えると話をしていました。参加した子供たちにとっても、今年のキャンプが楽しく充実したキャンプとなっていたらと願ってやみません。

夏は終わりましたが、まだまだ多くのお客様のご予約が控えています。引き続き、お客様に笑顔になっていたけるサービスを提供できるよう努めてまいります。



わくわくビレッジでのキャンプ

今月の卓話者

星野 太郎氏のプロフィール

東京 YMCA 副総主事。秋田県出身。明治学院大学文学部を卒業し 1992 年東京 YMCA 入職。

武蔵野ランチの地域活動、青少年プログラム担当として YMCA での働きをスタート。江東センター、カナダ YMCA キャンプでボランティアスタッフ（1 年間休職）、

国際奉仕センター、野外教育センター、前橋 YMCA、社会体育・保育専門学校、高尾わくわくビレッジなどを経て現在財務部を担当。

家族は 5 人（連れ合いと子ども 3 人）、国分寺在住。



<西東京センター 主な行事予定>

9 月

◆6 日（金）～8 日（日）「ユースボランティア・リーダーズ・フォーラム」@山中湖センター

◆10 日（火）「のどトレ教室」@西東京センター 14 時 00 分～15 時 00 分 参加費：700 円/1 回

◆14 日（土）「国際協カ一斉街頭募金」@新宿駅周辺

◆21 日（土）～23 日（祝・月）「全国 YMCA リーダー研修会」@山中湖センター

<Change! 2022 ニュース講読のお願い>

東日本区「Change! 2022 推進委員会」より

「Change 2022!」は、ワイズ創立 100 周年となる 2022 年をゴールとする東日本区の会員増強運動です。目標とする人数は、1997 年に東日本区が発足した時の会員数 1246 名です。この目標を達成するために、会員増強に関連するニュースを発信しようと、東日本区では「Change! 2022 ニュース」を毎月 15 日に発行致します。是非、お読みいただき会員増強活動のヒントにしていなければ幸いです。

この<ニュース>を読むことによってお互いに刺激をもらい、与え合うために会員の皆様からも、会員増強に関連する記事の寄稿・投稿をお願いいたします。

▼新クラブを立ち上げている

▼こんな会員の誘い方がある

▼新入会員の感想

▼新しい会員増強のヒント

など、どのようなテーマでも随時受け付けますので、記事をお寄せ下さい。

記事の送り先は、編集長の次のアドレスへお願い致します。

itami@tailor-itami.com

なお、ワイズドットコム、会員全員メール（ロースターに登録のある方）で配信しております。また、東日本区ホームページにも掲載されます。